

で、耕地の模様も大きく、大きな車輪をつけた移動式のスプリンクラーで灌漑を行なっている。小さなオアシスを過ぎ、スポーカンから100余Kmのリッツヴィル近くで、小麦の刈取り後の畑であろうか、裸の耕地から突然土煙があがった。土煙は見る間に空高くたちのぼった。竜巻だった。驚いてあたりを見回すと、遠くに数本、すぐ道路わきに数本という具合に、できては消え、又新たにできる。家や家畜を巻き上げるほど大規模のものは無いように見えたが、何しろ高速で走っている車が巻き込まれたらどうなるのかと不安だった。草や小石を巻き上げながら道路の方に移動してきた竜巻は、道路わきの堤に遮られ、そこで前進をやめた。どうやらその堤は道路に対する防風堤であったようだ。ともあれ昼食のことも忘れ、夢中で竜巻地域を走りぬけた。

ヤキマ近辺は乾燥地の中の果物の産地である。枯草色の山の麓には灌漑により青々と果物の木が茂り、見事な対称を示している。自家製のジャムもおいしいし、ハイウェイ沿いの出荷場で果物を買えば、モモやナシが10ヶ ϕ 20という安さで買える。

レーニエ山に寄り、シアトルを通り、ヴァンクーヴァーに戻る約3,500 Kmのドライブであった。(4回生)

メ ッ シ ュ

岡 崎 セ ツ 子

都電がガタゴトと音をたてて坂を下っていく。その音も次第に銀杏の並木と共に後へ遠ざかっていくと、静かな、そして夏でも一寸冷えびえとした建物に近づく、そこがお茶大の地理の研究室。これも、もうこのごろでは何か遠い昔のことにきこえるが……。

この静かな赤レンガの建物の一階に、松井勇先生の研究室は在った。中庭には真赤なケシの花が一面に咲いたり、たんぽぽの黄色い花が全盛をきわめたりしていた。春休みの頃にはつくしん坊が、やせてはいるが沢山とれた。

朝はひととき木製の廊下の足音がたえないが、始業と共にしんと静まりかえる。すると、扉のすぐ向う側や、30m程先の廊下の立話も皆聞こえる。時刻ぴったり、松井先生の授業が始まると、隣の講義室からは、若々しいお声がきこえる。10年ほど以前、私はこんな静かな落ちついた日々、先生の下で気候表やグラフ、分布図、各種の統計表などをまとめていた。時には出張にも出かけた。勿論「那須野盆地」へ。真夏のどうしようもないほどの暑い日々とか、山には雪が真白く野は寒風が吹きあれる日々とか、秋のやわらかい陽光の中を紅葉の山々を眺めながら役場の統計を集めたり、

農家のきき込みに歩いていた。でも、最近では何といっても、あのメッシュ¹2万5千分の1地形図の土地利用と、松井法で計測する傾斜との関係等々。私共の学生時代には大変手間がかかって、とてもとてもやりきれない作業だったのに、各種の計算機が実用化してきた今日、まさに時代の脚光を浴びている。日本列島を四角に区切らなければ本当に何も判らないと云いたげに、方々の官庁では、網目法でいろいろな縮尺の主題図を大量に処理している。6色も8色もの多色刷りのメッシュの図や、コンピューター・マップを見かけるにつけ、つつい松井勇先生やお茶大の卒業生諸姉を思い出すきようこのころ；松井先生パンザイ²（8回生）

松井先生のこと

村井妙子

松井先生がこのたび退官されます。そして、それは又うす暗い廊下に面した研究室から出ていかれることでもあります。本と標本しかない殺風景とも言える部屋と松井先生とは、私たちにとってはきってもきれないものでした。私たちは先生の部屋へ口頭の試験を受けるために緊張して入りました。又卒論などで何かお聞きするために入ると、たいていは毛布をひざにかけてチョココンと机に向っていらっしました。

入学して早速、先生からは気候学を学びました。8時半きっちりに始まり、百分みっちり続く授業は、朝寝坊でルーズな私には少々苦痛でした。しかし授業をさぼると百分の授業のはずが不思議にも、友人のノートをうつさせてもらうと百二十分位はかかるので、これは出席した方が得という計算で、又ふうふう学校へ行ったものです。先生の授業は夏休みの後などは筆記で手が痛くなります。休みの間にペンを持つ筋力がおとろえて、松井先生向きの手になるまでには1週間位かかるのです。テストといえば一夜づけではとても追いつきません。先生と会うと点数と顔が二重うつしとなり、こそこそしていました。要するに私にとっては少々煙たい先生でした。更に皆の話を総合すると、世俗のことには丸で関心がない。先生のかよっている都電の番号を知らない。何々についてもそれは何ですかといわれた。等々およそ僧侶か仙人のようで、ますます近よりがたかったのです。そしてそれきり卒業してしまったら松井先生の印象はそのままだったでしょう。卒業式も間近かになって私は松井先生の紹介で自由学園で教えることになりました。自由学園では松井先生はたしかもう30年以上は教えて居られます。新米の私が1年間の授業の報告をしますと、それでいいでしょうというだけでただ黙ってみていて下さいました。学問一筋でその他のことには関心全くなしと思っ